

(都) 大安寺柏木線及び(仮称)新駅西口広場の事業認可説明会

議事要旨【大安寺西地区】

○日 時：平成30年3月17日(土)
○時 間：18:00~19:00
○場 所：大安寺西小学校 体育館
○出席者：72名

【行政側(奈良県及び奈良市)からの説明】

「(都)大安寺柏木線 及び(仮称)新駅西口駅前広場の整備に係る事業説明会資料」を説明

【質疑応答】

(質問) 柏木交差点付近については右折レーン2車線となっているが、2車線必要なのか。

(回答) 国道24号の柏木町交差点へ進入する東西の県道は、現在でも渋滞しています。将来交通量的にも、西側・東側とも右折レーンを2車線設置する必要があります。

(質問) 信号の右折時間が短いので、見直してもらえれば2車線必要がないと思いますが。

(回答) 信号の時間は、奈良県警察で決めており、国道24号の渋滞状況や県道の渋滞状況を見ながら時間設定されていると聞いています。今後、信号の設置については、奈良県警察とも協議して進めます。

(質問) 現状、ゆららの湯から高橋西詰橋までずっと混んでいて、右折レーンに入ろうと思ってもその前が一車線で混んでいるので、右折レーンに入れない。右折レーンの距離を長くすることで渋滞の緩和になるかと思うが、どう考えているか。

(回答) (信号の時間が変わらないとすれば) 右折レーンを2車線設けることで、右折で出ていく車の量が多くなること、また、将来交通量としては、西九条佐保線等の整備により、国道24号から県道に迂回してきていた車が減り、将来的には交通量は減ると推計していることから、この右折レーンの長さで足りると考えています。

(質問) 今回の計画では、柏木の交差点から新駅のあたりまでということだが、そこから旧24号線まで道を拡げる計画は今のところ全く無いのか。

(回答) 今の計画では、西九条佐保線の交差点からひとつ東の交差点までの改良工事を計画していますが、そこから東側については人家連担地で、大安寺という特別史跡もあるので、県道としては計画を立てていません。しかし、京奈和自動車道の(仮称)奈良インターチェンジが開通すれば、西側だけでなく東側にいく交通もあるため、奈良市を含めて協議、検討していきます。

(質問) 信号の位置、路線バスの停留所の形状をどうするかお聞きしたい。

(回答) 信号は柏木の交差点、西九条佐保線の交差点、佐保川の高橋、八条踏切の箇所に設置する予定で、西口駅前広場からの出入り口は設置しない計画です。

バス停は、引っ込めた形のバス停はないですが、幅1.5mの自転車専用通行帯が路肩にある状況なので、自転車は待ってもらうことになりませんが、バスが停まっても車両はバスの横を進める計画になっています。

(質問) 自転車は、国道24号線のように自転車専用道という形にはなっていないようだが、歩道を自転車通行可とすることができるのか、原則車道を走らなければならないのか。

(回答) 近年、歩行者と自転車の接触事故が非常に多くなっている状況で、自転車は車両であると明確に位置づけられています。自転車利用のガイドライン上では、国道24号のように設計速度が60kmを超えてくるような幹線道路においては専用道を設置することになっていますが、当該道路のような場合は、設計速度も40kmであり、路肩に1.5mの自転車専用通行帯を設ければよいとなっています。1.5mの自転車道を設けるとかなり広いスペースで走れると考えています。

(質問) 自動車中心の計画に感じる。自転車・歩行者を重点的にやると言うのが大きな流れと思う。沢山の車の中で自転車に乗るのが怖いので、車道と自転車道の間を区分してもらえれば安心して通れると思うのですが。

(回答) 区分としては、自転車専用通行帯をはっきりわかるようなカラー舗装する計画です。

(意見) カラー舗装ではなく、境界ブロックや柵などの構造物にしてほしい。

(質問) 自転車道、歩道部分には街路灯は設置されるのか。防犯灯等の設置について、後々になる設置の交渉に時間がかかるので、事業計画のなかに街路灯、防犯灯の設置を含めて欲しい。

(回答) 道路照明については、基本的には交差点部分や危険箇所に設置する計画です。防犯灯等については、市や自治会との話になるため、市とも話をしておきます。

(意見) 高橋西詰交差点の橋は、冬場凍結しやすいので、自転車が滑らないような対応をお願いしたい。また、各交差点でのカーブミラーや、道路標識、交差点マーク、看板等についても十分みてもらい、事業と一緒に設置していただきたい。